

〔四方の硯雪〕京師の俗に、女兒あまたありて、男兒なき家には、するの子を、あぐりと名づくれば、かならず男兒をえ、よろこぶといふ、山田某といふ老儒、このためしをこゝろむことありしと、其門人のかたりき、

〔翁草三十八〕一享保廿乙卯年、於江戸大納言様仰之由諸大名の家來、怪姓名之分、書上候様にこの儀に付、左之通銘々より書上る、

藤堂大學頭内

七里鎌倉兵衛

松平大隅守内

疋和田四方四五右衛門

七寸五分刑部左衛門

仁禮五膳吾

谷禮五膳吾

松平陸奥守内

八幡男也

三方一所典膳

松平相模守内

古屋敷跡新九郎五左衛門

松平修理大夫内

竹下太郎八左衛門

小助助助

酒井雅樂守内

一石八斗兵衛

牧野河内守内

入交彌六左衛門

鍋嶋攝津守内

嬉野白石社宗彌次郎

水野日向守内

大岡田村正九郎助之進

松平甲斐守内

穴山宮内兵衛